

真宗佛光寺派  
大阪教区・  
別院だより

# 大悲

第47号

令和4年(2022年)  
10月1日 発行



落葉はじまる大阪城（大阪市中央区）

我が家の猫が突発性の心臓病を患った影響により、半身麻痺となりました。病院に連れていった時にはすでに助かる見込みはほとんどなく、「手術する方法もありますが、体への負担が大きく、痛い思いをさせるだけの可能性が高いですよ」と先生がおっしゃいました。

悩んでいる私に、「大切にされている気持ちはわかりますが、これ以上苦しめないように安楽死の決断をするのも優しさですよ」と言われました。しかし、即答できるわけもなく、心臓の動きをよくする注射を打ち、翌日診断することを約束し、猫と共に帰宅しました。

水も飲めないほど弱った猫を見ながら「安楽死」のことを考えていましたが、どれだけ考えても決断することができず、なんとか助けたいという気持ちばかりが前に出ます。

そんな私の隣で早朝、猫は静かに息を引き取りました。悲しい思いを胸にしながらも、命の選択を迫られている悩みから解放され、安堵する私の姿もありました。

（中井翔隆）

# と う ひ が ん 到 彼 岸



当たり前ではない

高照寺 すみや としき 隅谷俊紀

つていたからこそ成り立っていたと思  
うと、感慨深いものがあります。

## 条件が重なって

落語会当日、本堂で会場の最終確認  
をしていると、噺家さんが来られたの  
が目に入りました。急いで玄関へ向か  
おうと、階段をドンドンと降りた  
その瞬間、右ふくらはぎに痛みが……。  
肉離れです。

「これが大谷翔平なら大変ですが、私  
なら、まあ大丈夫です」と落語会冒頭  
の住職あいさつで笑いをとったものの  
事態は深刻でした。

その日は一日中、歩行が困難で、無  
理に歩くとかなり痛みが走りました。  
痛み止めを飲み、湿布を貼ったのが功  
を奏したのか、翌日には痛みはひきま  
したが、まだうまく歩けません。

「ふくらはぎの一部分がダメージを受  
けただけで、こんなにも歩行が難しく

なるとは」。ゆっくりゆっくり一歩ずつ  
歩くなかで、普段、何も考えずにして  
いる「歩く」という行為が、多くの条  
件が重なったからこそ実現していたの  
だとあらためて実感したのでした。

## 当たり前前

四日間は日課のウォーキングをお休  
みし、以後はペースを落として再開、  
数日後には元通りに歩くことができま  
した。そして治ってしまえば……。

一つひとつの筋肉のありがたさも忘  
れ、何も考えずにウォーキングしてい  
る私を、ふくらはぎの筋肉はあきれな  
がらも毎日毎日働いてくれているので  
す。「当たり前前にはしているすべてのこ  
とが、当たり前前ではないのだ」と言いた  
げに。

(令和四年十月)

年に一度、お寺で催している落語会。  
コロナ禍で二年続けて中止になりました  
が、今年、三年ぶりに開催すること  
ができました。

これも、感染状況が落ち着き、噺家  
さんが出演を承諾してくださり、そし  
て何よりもご門徒の皆さんお一人おひ  
とりが楽しみに来てくださったから開  
催できたのです。当たり前前にはいた  
毎年の落語会も、いくつもの条件が整



# 如に是よ我ぜ聞が 聞もん

## 義について

新潟教区

佛照寺

花井はない暁あきのぶ信師



佛光寺チャンネルより花井師の「義について」を聴聞させていただきました。

親鸞聖人が、法然上人より伝えられた「義なきをもって義とす」という言葉を通して、本願のはたらきについてお話しされました。

### 義なきの「義」とは

親鸞聖人は「義というは、行者のおのおののからうころなり」、つまり私たち一人ひとりのはからいなのだとおっしゃっています。はからい

とは、健康で長生きがいい、お金があるほうがいいというそれぞれの思いです。また、モノサシに例えられるでしょう。私たちはそのモノサシを

持ちながら生活しています。ただし、その目盛りは人によって違うから厄介なのです。そのはからいを超えるのが本願のはたらきです。

### 気づき

ある女性漫画家の子どものころの話です。小学校登校初日、1+1=2という算数の

授業がどうしても理解できず、先生や親に叱られました。そして彼女は悩み、パニックを起こし病院で診察を受けました。

その病院の医師に「1+1=2を理解するのは本当に難しい。そこで立ち止まったあなたは頭が良いのです」と伝えられました。そもそも算数は人類の歴史上生まれ、形づくられたもので、私たちのはからいにより定義つけられたものです。それが絶対的だと思ふことで苦しみがうまれる

のです。

いつの間にかはからいという枠組みであるモノサシに他者をはめ込もうとし、当てはまるものは受け入れ、当てはまらないものには攻撃する。それが自分であれば自己否定してしまうのが私たちです。

はからいを持つてしか、ものごとをみられない、私たちの姿が、「義なきをもって義とす」と表される本願のはたらきによって照らし出されてくるのです。

### 私自身

今回、花井師のお話を聞き、私がいかに自身のモノサシの中に生きているのかと気づかされました。

(寿栄松正顕 記)

# 大阪探検

## あべの 大阪市立阿倍野防災センター

あべのハルカスのすぐ近くにある大阪市立阿倍野防災センター（あべのタスカル）は体験型防災学習施設です。

1995（平成7）年の阪神淡路大震災以降、地震をはじめ大災害へ備える意識が高まっています。いくつかの体験コースがある中、今回は初めての方におすすめのタスカルコース（1時間）を紹介します。

### 体験することの大切さ

内容は、シアターでの映像体験、各ブースでの減災、消火、煙、津波、がれきの街での学びと体験、そして起震装置と映像による震度7体

行動などを学習し、体感することができます。

とくに、シアターでのショッキングな映像、そして起震装置での南海トラフ地震を想定した1分間を超える震度7の横揺れの体験は、私の想像をはるかに超えるものでした。今回の体験で、自分の防災意識が変化したことも感じます。

大人から子どもまで、誰もが分かりやすく学べる防災体験学習は基本的に予約が必要です。今回はタスカルコースを体験しましたが、今度は助けるコースを申し込んでみようと思いた。皆さんも是非一度、自身の興味あるコースを体験されることをおすすめします。

開館時間は、10〜18時（最終受付17時30分）、休館日は水曜日、最終木曜日（祝日の場合はその翌日）と年末年始です。（門川崇志）



あべのタスカル



震度7体験



消火を学ぶ

#### 【アクセス】

- ・大阪メトロ谷町線「阿倍野駅」より徒歩約5分
- ・JR「天王寺駅」、近鉄南大阪線「大阪阿部野橋駅」より徒歩約10分

# お店を訪ねて

## はまや 寝屋株式会社 (寝屋川市)

浜屋は1804(文化元)年、初代・濱屋治左衛門が姫路藩お抱えの塗物師で、籠や刀の鞘、文箱ふぼこなどの漆塗りを生業として創業されました。

浜屋の「匠」の技が評価されて1911(明治44)年「大博覧会」にて金牌を受賞。戦後の復興の中で、5代目・濱田常治郎が株式会社を設立し、現在の明彦社長で7代目となります。今回、店内に約200基の仏壇の展示のある大阪本店・寝屋川店店長の奥田良さんにお話を伺いました。

### 関西随一

現在、浜屋は、姫路市に本社と自前のお仏壇の直営工場を構え、関西一円に37の店舗を有する関西最大規模のお仏壇の専門店です。

1981(昭和56)年に始まった仏壇仏具の展示会は、今では春に神戸で9日間、秋には大阪で5日間と



寝屋川本店を紹介する奥田店長

大きな規模で開催されています。各宗派の住職さんやご寺族向けには、法衣や念珠、お香はもちろん、書道具や和装小物まで品揃えは豊富です。一般ご家庭向けには伝統的なお仏壇から現代的な仏壇仏具、墓石にいたるまで幅広く展示即売されています。期間中1000ヶ寺以上の住職さんが来場されており、浜屋を代表するイベントとして定着しています。

「やすらぎのある暮らし」

浜屋はいつもお仏壇を通して「やすらぎのある暮らし」を創造してこられました。「やすらぎのある暮らし」とは言いかければ「感謝の心がある暮らし」だそうです。

奥田さんは、「お仏壇はご家庭における心の教育の場として、日本人が大切に受け継いできた文化です。これを今に伝えるお手伝いができれば」と願っておられます。

また「専門店としての伝統を活かしながらも、オンラインショップやSNSを積極的に活用し、常に新しいものを取り入れていきたい」と抱負をお話しくださいました。

(長田 譲)

■ 浜屋株式会社寝屋川本店

〒572-0025

寝屋川市石津元町15-22

電話 072-829-2211

Fax 072-829-2137

# 大悲トピックス

## ■法友会研修会開催

7月25日、大阪別院にて、来年本山で厳修される慶讃法会の執行本部事務局長である岸本秀一師を講師に、基本理念の「大悲に生きる人」とあう「願いに生きる人となる」をテーマに研修会を行いました。

岸本師は理念の内容は「人にあい 人となる」であり、どのような人にあい、どのような人になるのか。人に生まれたら、人になるだろうか。人とは一体何なのか、との問いに答えるのが理念ですと、お話しいただきました。(長田 護)



㊦ 法友会研修会 ㊧ 佛青懇和会研修会

## ■佛青懇和会研修会開催

7月8日、大阪別院で第1回佛青懇和会研修会が開催され、光台寺・木村光見師に衣体作法についてご講義いただきました。

まず法式紀要（法要儀式に関する規定）や法規総覧（宗派全般の規則）の服装条例に基づき、衣体の決まり事や注意点などについて分かりやすくお話しいただきました。

そして参加者も一緒になって、実際に衣体の結び方や畳み方などを教えていただきました。

長年本山で法務に携わっておられる中、従来の方法を踏まえながらも、経験から編み出した知識や裏ワザを惜しみなく披露していただき、終了後も参加者との質疑応答が止まらない、大変熱い研修会となりました。

(佛青懇和会会長 門川 崇志)

## ■懇志御礼

- |         |      |
|---------|------|
| 福井県福井市  | 西雲寺様 |
| 福井県あわら市 | 称蓮寺様 |
| 滋賀県甲良町  | 円覚寺様 |
| 神戸市北区   | 光善寺様 |
| 三重県いなべ市 | 東光寺様 |

人工芝施工・内外装工事・サイン・ディスプレイ・テント



**協和産商株式会社**

<https://www.kyowa-ss.co.jp/>  
 本社:大阪市東住吉区今川8-1-14  
 TEL:06-6702-5722 FAX:06-6702-5732

御本山  用達

株式会社 **川勝法衣店**

フリーダイヤル 0120-075-055  
 (〒600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入  
 電話(075)371-0367(代)  
 FAX(075)371-5088

創業100余年・お墓の専門店

**石留石材株式会社**

土日祝もご相談いただけます(8時~17時)  
 **0120-53-5578**  
 ■本社:大阪府藤井寺市津堂2丁目9番29号

創業安政3年  
 京佛具調進  
 森田屋

**福野御佛具處**

〒601-8424  
 京都市南区西九条猪熊通九条上る  
 tel. fax 075-691-8423

浜屋は関西最大級の  
 お仏壇・お仏具・墓石・御寺院お仏具の  
 専門店です。

やすらぎの  
 世界を創る  **浜屋**

通話料無料/浜屋姫路本社フリーダイヤル  
 お問い合わせ  
 お申し込みは **0120-1616-94**  
 ●受付時間/午前10時~午後6時30分

お墓なんでも相談センター

永遠の想いを像に還るお手伝い

 **ヨシザワ**

株式会社 吉澤石材工業所  
 シキュー イシヤニ  
 フリー  
 ダイヤル **0120-49-1482**

# だいひ 絵日記

- 7月 8日 (金) 佛青懇和会研修会 (衣体作法、講師：木村 光見 師)  
7月 12日 (火) 大悲の会編集会議 (第 47 号読み合わせ) (オンライン会議)  
7月 25日 (月) 法友会研修会 (慶讃法会基本理念、講師：岸本 秀一 師)  
7月 29日 (金) 大悲の会編集会議 (第 47 号読み合わせ) (オンライン会議)  
8月 13日 (土) 大阪別院盂蘭盆会 (~ 15 日) ①  
8月 18日 (木) 大悲の会編集会議 (第 47 号読み合わせ) (オンライン会議)  
9月 8日 (木) さつき会研修会 (仏画を描こう) ②  
9月 16日 (金) 法友会研修会 (天台声明と佛光寺声明、講師：藤波 蓮凰 師)  
9月 20日 (火) 大阪別院彼岸会 (法話：脇阪 義仁 師)  
9月 22日 (木) 大悲の会編集会議 (第 47 号発送作業・第 48 号内容検討)  
9月 23日 (金) 大阪別院彼岸会 (法話：隅谷 俊紀 師)  
9月 26日 (月) 大阪別院彼岸会 (法話：玉出 宗順 師)  
9月 30日 (金) 佛青懇和会研修会 (仏具おみがき)

(法友会=住職会、さつき会=坊守会、佛青懇和会=青年会)



■ 広告募集 (『大悲』発行は広告によって支えられています)  
企業・団体・寺院の広告を誌面に掲載させていただきます。  
1 区画 (55 mm × 40 mm)、掲載 1 回につき 5,000 円です。

■ 定期購読 (ご門徒の皆様方にもお渡しく下さい)  
『大悲』の定期購読は、1 部につき 30 円です (送料込)。10 部  
単位でお願いいたします。

仏跡参拝なら専門旅行会社にお任せ下さい!!

～歩もう仏陀の道のりを～

 株式会社 **モントラベル**

〒550-0013

大阪市西区新町1-8-1 行成ビル

お気軽にお問い合わせください

TEL. 06-6531-1344

協 賛

**佛青懇和会**

大阪教区の青年会  
(会長：門川崇志)

協 賛

**さつき会**

大阪教区の坊守会  
(会長：玉出みゆき)

協 賛

**法友会**

大阪教区の住職会  
(会長：寺田宗隆)



どなた様でもお参りいただけます  
**法要・法話会のご案内**



**本山佛光寺茶所布教**

毎日午前7時半

※大阪教区布教使の担当は下記の通りです

12月11日(日)～15日(木)

法話：葦名 彰 師 (妙圓寺)

12月16日(金)～20日(火)

法話：門川 崇志 師 (浄方寺)

**大阪別院 報恩講 併修 御巡教**

下記の通り、今年の大阪別院報恩講にあわせて御巡教をお勤めします。

御巡教とは、ご門主が地方の寺院に出向き、巡回して自ら教化活動されることをいいます。

この度は、来年5月の慶讃法会を皆さまと共どもに勤める意義をお説きになります。

**大阪別院 報恩講併修御巡教**

**10月27日(木)午後2時より**

**法話：福嶋 崇雄 師 (滋賀・正嚴寺)**

**編集秘話**

編集会議のメンバーの中で一番若い私ですが、そんな私もギリギリ昭和生まれです。妻は平成生まれ、子どもは令和生まれですので、ものすごく歳の離れた家族のような気分になります。ときおり、発言が古臭く、時代遅れと指摘されますが、昭和生まれでも「今」についていけるところを見せつけたいと思います。(中井)

**編集後記**

これまでの大悲の会7名の中では、私自身、年齢順は真ん中、平均年齢も私とほぼ同じ54歳でした。今回、中井さんが加入されて年齢的にもグッと若返り、また8名の年齢差は31歳とひろがりました。今後、それぞれの年代からの幅広い視点を活かしあって誌面作りに臨んでいきたいと思います。(編集長・隅谷)

大阪教区・別院だより『大悲』 第47号(秋号)  
 令和4年(2022年)10月1日発行 (発行部数2200部)  
 発行：大悲の会  
 事務所：佛光寺大阪別院内  
 〒558-0011 大阪市住吉区苅田6-11-24 電話06-6691-1362  
 郵便振替口座：口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」  
 ホームページ(HP) <http://daihi.org/> (ご意見・ご感想はHP内の「お問い合わせフォーム」より)

大悲の会  
 長田 譲(会長) 門川 崇志(監事)  
 隅谷 俊紀(副会長) 佐々木 太一  
 寿栄松 正頭(会計) 葦名 彰  
 玉出 宗順(会計) 中井 翔隆